

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	道路法
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	都市整備課
計画	中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち	係長・大森 康晴
	小項目	施策	34	道路環境の整備	
事務事業名		05		道路等新設改良事業	電話
				0869-64-1835	このシート作成に要した時間
				6.0	時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	道路を通過する歩行者・二輪車・自転車・自動車	
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路改良により、幅員が3.5m以上となる工事の割合を一定以上保ち、改良効果の向上を図る。	

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路新設改良事業	市道の新設、拡幅、改良及び舗装をし、道路を円滑に通行できるようにする。	◎
	橋梁新設改良事業	新しく橋を架けたり、老朽化した橋を改良する。	◎
	用地購入事務	市道の新設や拡幅するための用地を購入する。	◎

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	237,515	210,344	205,860	
	必要人員費	人員件費	千円	4.06人	28,090	3.75人	
	事業費	費	千円	265,605	236,882	230,998	
	財源	国	支出金	千円	50,160	39,127	56,359
		受	益者負担				
		繰	入金				
		市	債			21,700	20,600
		その他()					
		一	般財源		215,445	176,055	154,039
	受	益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標量		説明	改良工事後に幅員が3.5m以上になった道路の延長		
	対	前年比	%	654	795	947
	活	動コスト	円	73,598,700	76,656,950	70,940,550
	単	位当たりコスト	円	112,519	96,424	74,911

事業の成果		平成25年度事業				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
改良工事に占める幅員3.5m以上改良延長の割合	目標値(A)	65	65	65	65	
	実績値(B)	22	32	58	到達目標値	
	達成率(B/A)	33.85%	49.23%	89.23%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
幅員3.5m以上改良延長/改良延長						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	今年度は3.5m以上の拡幅割合が達成率が89%を達成した。今後も用地協力が得られ、緊急性、事業効果の高いところから重点的に整備をしていく。					

総合評価		総合評価
今年度は日生町日生地内の狭小幅員拡幅の市道を拡幅したため、成果指標の実績値は上がり、生活に密接した道路の整備はできた。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	コスト削減を考え、緊急性の高い用地協力の得られたところ、事業効果の大きいところから重点的に道路整備を行っていく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな